

マレーシアに来て五週目、本来なら中間テストがあったはずだが何故か全科目で延期になり来週行われることになった。その延期についてもテスト前日の日が変わる30分前に突然スケジュール表が更新されるという形で知らされた。ここのスケジュール表は公式でも当てにならなかつたりする。閑話休題。

マレーシアで食堂に行くと必ずミヌム？と聞かれる。ミヌムは飲むという意味で、ドリンクのオーダーをとっているのだ。当然水は有料である。ここでも日本との違いを見つけたので飲み物に関して気づいた事をまとめてみた。

1.基本的に飲み物は甘い

とにかく甘い。水以外すべてといってもあながち間違っていないだろう。初めてマレーシアを訪れた際に買って飲んだ緑茶がミルクティーよりも甘くて腐っているのかと驚いたくらいだ。コーヒーも当然甘い。試しにブラックが飲みたいと言ってお店の人に頼んで作って貰ったが非常に珍しがられた。辛党の人は注意。

2.飲み物は本格派

マレーシアではフルーツが豊富で安いからか、基本的にジュースを頼むとその場で絞って作ってくれる。サッパリとして飲みやすい。またコーヒーや紅茶もインスタントは使わない様子。

3.ストロー社会

マレーシアではストローを常用する。紙パックに限らず、コップや缶ジュースでさえだ。ハウスメイトによれば、以前マレーシアの学生が缶ジュースを開けてそのまま飲んだところ飲み口に付着していた殺虫剤で死亡したケースがあったと言う。飲み口を洗えば良い話だがそれが面倒なのだろう。

4.氷は穴の開いた円柱型

こちらの氷は日本のように四角いブロック状ではなく、中心に穴の開いた円柱型をしている。ブロック状の氷と比べて表面積が大きく、飲み物がすぐに冷えるからだろうか？

5.お冷ではなくお湯

こちらで水を頼むとお湯が出てくる。熱湯ではないが、温くはない。以前日本でマレーシアからの留学生の家を訪ねた時に水を頼んだらお湯が出てきたのを思い出した。曰くマレーシアでは飲み水が安全ではないため必ず沸かして（煮沸消毒をして）から飲むのが癖になっているらしい。

6.飲み物はビニール袋に入れる。

これ、結構知っている人が多いのでは無いだろうか？マレーシアで飲み物の持ち帰り（ボックスor take away、takeoutではない）を頼むと小さなビニール袋に入れて手渡される。思った以上に袋がしっかりしており床に置いても中身が零れない。当然保存には向かないが。またこちらに来てから知ったのだが袋に取っ手がある訳ではなく、袋の口をビニール紐で縛って持ち運べるようにしている。お陰で持ちやすく取っ手が干切れることもない。どこにでも引っかけられるので書けたままよく忘れて放置されているのを見かける。

7.水筒常備

こちらではみな水筒を持ち歩いている。実用重視で保温機能などついていなく、水筒というより丈夫なペットボトルと言った方がイメージに近い。理由は日本のように飲み水を手に入れにくいからだろう。マレーシアでは水道自体は普及しているものの直接飲むことが出来る水道はほとんど、というか全くない。知る限りでは空港とKLCC公園で見かけた2か所だけだ。大学や家庭では基本的にろ過機を水道に備え付けて飲み水を作っている。店売りさ

れている水も輸入されたミネラルウォーターを除けばすべてRO水（逆浸透膜処理された水）だ。水は豊富でも飲み水は別ということだろう。

また今回の記事には書かなかったが、マレーシアにはお茶やジュース、コーヒー以外にも多くの飲み物がある。それらについてもまた次の機会の記事にしたい。小倉。



大学食堂で頼んだ生搾りドラゴンフルーツジュース。色が毒々しいが着色料等はいない。種がツブツブしていて時々繊維質。サッパリしたお味。